

さわやか

3つの「あ」 あいさつ あんぜん あとしまつ

【東士狩小学校 教育目標】

個性豊かに、たくましく生きる
子どもの育成

『めざす子ども像』

- 自ら学び表現する子
- 友だちと仲よくする子
- 進んで身体をきたえる子
- ふるさとを愛する子

校長 山口 直哉

危機対応を学ぶ

地球温暖化の影響か、今年も日本全国で大雨による災害が多数発生しました。本校も然別川沿いに位置していることから、子供たちや地域の防災意識を高めるために、音更町危機対策課、教育委員会、NHKの方々を講師に招き、10月13日（木）に一日防災学校を実施しました。低学年は防災カルタ、中高学年はハザードマップと洪水時のAR体験、更に高学年では避難所開設時のダンボールベット作りを体験しました。



また、20分休みには、火災による避難訓練を行い、音更消防署員の指導の下、消火体験も行いました。当日は、多数の保護者の皆様にも参加していただき、子供たちと一緒に防災を考えるよい機会となりました。



10月18日（火）には、帯広警察署生活安全課の佐藤巡查部長を講師としてお招きし、防犯教室を実施しました。不審者等に会ったらどのような対応をしなければならないのかというお話の後、「自分の身は自分で守る」ための行動等の模擬体験を行いました。町内でも不審者情報が時折出されている状況です。ご家庭でも防犯に対する注意を子供たちに話していただけるようお願いいたします。

【防犯標語】 いかのおすし

いかない んらない おおごえをだす すぐにげる しらせる

～弾道ミサイル発射に係る警報発令の対応について～

先日、このことにつきまして文書にてお知らせいたしましたが、登校時間前に発信された場合は登校を一時見合わせ、ミサイルが海域に落下した等で安全が確認された場合は、登校を再開させていただきます。状況に応じて始業時間を繰り下げたり、臨時休校等を行ったりする場合があります。その際は緊急性と重大性が高いことからマチコミにてお知らせいたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

マラソン記録会

9月22日
(木)にマラソン記録会

を実施しました。当日は曇りではありませんでしたが、絶好のマラソン日和となりました。当日を迎えるまで、子供たちはたくさんの練習を積み重ねてきました。本番では、周囲の応援もあり、多くの児童が自己ベストを更新していました。応援・見学に来ていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



宿泊学習

10月21日(木)、22日(金)と帯広市児童会館で複式4校合同宿泊学習が行われました。すでにお知らせしていますが、今回が最後の合同宿泊学習となります。事前に遠隔で4校合同の交流会を実施していたので、子供たちは児童会館でも積極的に他校児童と交流を図ることが出来たようです。高学年にと

っては、またよい思い出が一つ増えました。



草の根教育実習

この草の根教育実習は、へき地・小規模校の体験的な教育実習を通して教職を目指す学生が教員のやりがいを再発見するために実施されています。本校では、昨年度に続いて2名の実習生を受け入れ、10月11日(火)から3日間にわたって、瀬川大輔さんと木本樹里さんが実習を行いました。元気な子供たちとの交流を深め、教員の魅力を改めて肌で感じたようです。木本さんは昨年に引き続き2回目の実習でしたが、来年も是非本校に実習に来たいと言っていました。期間は短かったのですが、二人にも子供たちにも充実したよい経験になったようです。

この草の根教育実習は、へき地・小規模校の体験的な教育実習を通して教職を目指す学生が教員のやりがいを再発見するために実施されています。本校では、昨年度に続いて2名の実習生を受け入れ、10月11日(火)から3日間にわたって、瀬川大輔さんと木本樹里さんが実習を行いました。元気な子供たちとの交流を深め、教員の魅力を改めて肌で感じたようです。木本さんは昨年に引き続き2回目の実習でしたが、来年も是非本校に実習に来たいと言っていました。期間は短かったのですが、二人にも子供たちにも充実したよい経験になったようです。



教職員も学びを深める

十勝管内へき地・複式教育研究大会音更大会が、10月12日(水)に西中音更小学校を会場として行われました。当日は、3時間授業として児童が下校後、全職員で研究会に参加しました。複式校におけるICTを活用した算数科の授業づくりについての発表でしたが、本校の教育活動にもとても参考となるものでした。学んだことを生かしながら、子供たちの学習意欲の高まりを更に向上できるよう、自校の授業改善を進めて参ります。

～いじめ問題への対応～

6月に実施したいじめアンケートと子供たちへの聞き取りなどを実施した結果、本校ではいじめに該当する事案はありませんでした。しかし、いじめの芽はどの児童にも生じ得ることを踏まえ、いじめの未然防止に今後とも全職員で対応していきます。また、ご家庭でも、気になった子供たちの様子の変化などがありましたらいつでも学校にご連絡ください。